従業者向け

児童発達支援評価表

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・人数によりグループ分けし療育を行っている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・基準は満たしているが利用者の状況によっては職員の人数がもっと欲しい時もある。 ・1対1での対応が必要な時もありその時に応じてグループ分けし療育している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・建物の構造上ホールを通りトイレへ行くがホワイトボードなどで仕切り気持ちが逸れないように工夫している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・清掃、消毒等は適宜行っている。 ・集中できる環境作りに努め必要のない物を置かないようにして工夫している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・気持ちの切り替えができる部屋の確保が望ましいが行事や兄弟保育の都合により難しい。 ・個別の療育時間では部屋数が足りなくなってしまうように予定を組んでいる。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	・話し合いの機会を設け周知に努めている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・モニタリングの際保護者から見た評価を伺い次へと繋げている。 ・アンケートを実施し保護者の意向を把握し療育に活かしている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・意見は共有し、より良い方法を常に話し合い次へ繋げている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・外部研修には積極的に参加し情報共有する。 ・研修や地域の交流会に参加し情報交換もしている。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・保育室に掲示し、市のホームページにも掲載している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・保護者としっかり面談を実施することで作成し共有できている。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・担当も作成に関わり、お子さんの姿を元にして保護者の意向も大切に作成している。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・支援計画は職員間で共有し、分析し支援に活かしている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・行動の前後を分析して問題行動を保護者と共に考えていけるようにしている。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・満足感、達成感を得られるような目標設定をしている。 ・様式の見直しを行い具体的な支援とし療育に活かしている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・月の予定を話し合いその週の内容を決め、当日のリーダーとなる保育者が療育を受ける子どもに合わせた細かな内容を組み立てる。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に合わせた療育内容を提供し様々な遊びができるようにした。 ・運動遊び、ふれあい遊び、感覚あそび、やりとり遊び、造形遊びをバランス良く取り入れ様々な経験ができるようにしている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の利用者の状況を考えて適切な方法を話し合い選択している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーを中心に療育内容を保育者全員で把握できている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・療育を振り返り今後の支援ポイントなども共有できるようにしている。 ・療育中の様子や子どもの変化を伝え合い共有できている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・療育日誌、個人記録を取り個々の細かな様子も書き留め活かせるようにしている。 ・現状に合った記録を残せるよう今後も記録用紙の変更等も視野に入れている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・園長、担当と一緒に参加している。 ・担当職員が参加することにより情報共有や意見交換ができています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関の情報は保護者を通じて書面にて報告をお願いしている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に同意を得た上併用先の子どもの様子を見せてもらったり情報交換や共有ができています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育課を中心に連携している。 ・特別支援学校に職員が見学に行き情報共有をしている。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画は適正時期に取得できなかったので改善したい。 ・併用先の園の担当者が集まり会議を設けている。 	

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で休止となっていたが検討していきたい。 ・今年度は保育園や幼稚園を併用している子どもが多く見合わせた計画をしたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングや面談だけではなく日常の様子や変化を伝え合い子どもの発達状況を共有できている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の研修会等の情報提供はしているが事業所独自では行っていない。 ・園開放、支援センターのお知らせ、学校見学、発達相談等の掲示をし保護者に声かけをしている。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に行っている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングを通し、子どもの様子だけでなく家族の思いを確認している。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の希望に添えるような計画を立て確認してもらい一緒に目標に向かって頑張れるように支援している。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・会話のやりとりの中から心配に応じて実施している。 ・日々声かけするように心がけている。その中で相談や面談等の支援を行っている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流が持てるよう母子分離をし交流会、ライフサポートファイルを書こう会を実施した。 ・きょうだい児の交流会は今後の検討事項である。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・その場で対応できない事案の場合は職員間で検討し後日返答している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・月の療育内容や行事の写真など毎月ホームページに載せ更新している。 ・園だより、けんこうだより等の配布、掲示をしている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・書類は持ち出していない。また職員が不在の際には施錠している。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・個別対応等状況に応じて配慮できるよう心がけている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・LINEを活用し市民に『出張つくし園』を告知し開催している。
非常時等の	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを参考に訓練を実施している。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画に沿って地震、火災、水害、不審者等の避難訓練を実施している。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に面談を行い、細かく聞き取り全職員で情報を共有している。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・給食提供は無いため指示書はないがアレルギーの把握はしている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画は作成し職員は周知している。

対 応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・警察署の方を交えて交通安全教室を実施した。 ・登降園の際には駐車場の安全面を考慮し手を繋ぎを歩くように声がけをしている。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はヒヤリハットの事例は無いが書面に残し情報を共有している。 ・その日にあったことを随時報告し合い共有している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・全職員参加で園内研修の実施を行っている。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・現在対象児はいないが、定期的に療育内容に基づき検討や話し合いをしている。